

2023.5.13

朝鮮古代史と日本

清水徹朗

I . はじめに – 深い朝鮮半島と日本の関係 –

- 「朝鮮」は日本の隣国であり、古代より非常に深い関係にある
 - ・・・・民族(遺伝子)、言語、稲作、神社、仏教、陶磁器、青銅器・鉄器
- 日本の芸能界、スポーツ界に朝鮮出身者(及びその子孫)が多い
- 在日朝鮮人(特別永住者)が29万人いる。
- 韓国から多くの訪日観光客(ピーク時の2018年は754万人)。
- 韓国を訪問する日本人も多い(2018年で295万人)。
- 現在でも両国の深い関係は変わっていないが、「歴史問題」等から日本と韓国・北朝鮮は必ずしも良好な関係にあるとは言えない
- しかし、多くの日本人は朝鮮の歴史をよく知らない
 - 朝鮮半島の歴史、日本との関係を正しく深く理解する必要がある

Ⅱ. 朝鮮古代史概説

[旧石器・新石器時代]

- 朝鮮半島には40～50年前の原人が残した遺跡が存在。
- 日本に人類が渡来したのは一般には4万年前とされている。
ただし、近年、10万年前(長崎県平戸市)、11～12万年前(島根県出雲市)の遺跡がみつまっている。
- 1万3千年ほど前、ほぼ同時期に朝鮮半島(櫛目文土器)と日本(縄文式土器)で土器が出現(新石器時代)。
- 日本でも西北九州を中心に櫛目文土器が出土し、朝鮮半島でも縄文土器が出土しており、縄文時代から相互に交流があった。また、黒曜石、狩猟道具、装身具などでも交流の痕跡がある。



櫛目文土器



縄文土器



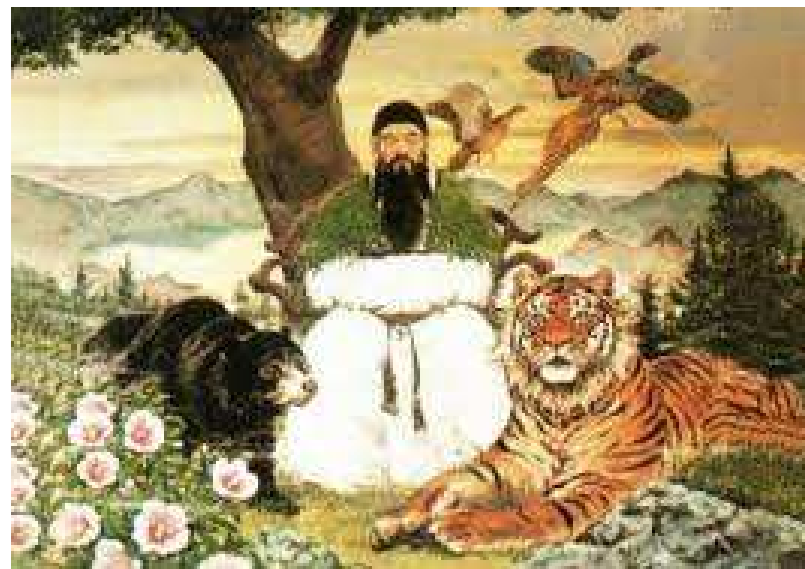
[農耕の開始と集落・墓制]

- 朝鮮半島ではBC2000年頃から雑穀の栽培が広がる。
- 日本でも同時期に雑穀栽培が行われたが、それほど広がらなかった。
- 朝鮮半島ではBC1000年頃から稲作が拡大(BC20世紀に稲作が開始されたとの主張もある)。
- 農耕の普及とともに定住集落が形成され、朝鮮では支石墓が発展。日本でも九州に支石墓が伝来。
- 朝鮮ではBC8～9世紀に青銅器が製作され、その後、鉄器も使われるようになる。日本の青銅器、鉄器は朝鮮から伝来。



[檀君神話 (朝鮮建国神話)]

- 朝鮮の建国神話。『三国遺事』(13世紀に編纂)に書かれ広まった。
- 天神桓因の子桓雄が人間世界を治めるため大伯山(白頭山)に降臨。
- 熊と虎が桓雄に祈願して人間になるための修行をした。虎は修行を途中で放棄したが、熊は修行を続けて人間の女になり、桓雄と結婚し、檀君(王儉)を生んだ。



[箕子朝鮮]

- BC1122年に周(殷の後の王朝)の武王が殷の王族箕子を朝鮮王とし、檀君の王位を継承したとする伝承。箕子は中国から朝鮮半島に移住し朝鮮を統一。
- 箕子朝鮮の伝承は中国の儒者の一学説であり、中国による朝鮮支配を正当化する伝承で史実ではないとの見解が強い。(孔子は箕子を名君と評価)
- BC4～3世紀 箕子朝鮮は中国の燕と対抗
- BC221 秦が中国を統一(始皇帝) ← BC222 秦が燕を滅ぼす
- BC202 漢が中国を統一(前漢) ← 秦が滅亡(BC206)



[衛氏朝鮮]

- BC195 衛満(燕の軍人)が燕から挑戦に亡命し、箕子朝鮮を滅ぼして衛氏朝鮮を建国
- 衛氏朝鮮は漢の支配下にあった。
- この時期に、多くの中国人が朝鮮半島に移住
 - 漢民族に土地を奪われた人々が北九州に移住…「弥生人」となる
 - 九州に水田稲作が広まる、弥生式土器の出現、銅剣や銅鏡を祀る



考古学	櫛目文土器時代 8000 BC-1500 BC 無文土器時代 1500 BC-300 AD							
伝説	檀君朝鮮							
史前			箕子朝鮮 燕 衛氏朝鮮					
	辰国							
原三国	辰韓	弁韓	漢四郡				濊貊	沃沮
			馬韓	帶方郡	樂浪郡			

[漢による楽浪郡設置]

- BC109 漢が衛氏朝鮮を攻撃
- BC108 衛氏朝鮮が滅亡、漢が朝鮮半島に楽浪、臨屯、真番の3郡を置く
- BC107 さらに北方に玄菟郡を置く……漢による朝鮮統治
→ その後、楽浪郡(平壤が本拠地)が統治範囲を拡大
- AD204 公孫氏(遼東の豪族)が楽浪郡の南に帯方郡を置く
→ 238年 魏が公孫氏を滅ぼし、楽浪郡・帯方郡を支配



[三韓の成立]

- ・BC2世紀末～AD4世紀……3つの部族連合(馬韓、辰韓、弁韓)が成立



[馬韓]

- ・半島西部、52か国の連合
- ・後の百済の領域
 - ・AD 9年に伯済国(馬韓のうちの1国)が馬韓の全領土を併合 → 「百済」の成立

[辰韓]

- ・半島南東部、12か国の連合
- ・後の新羅の領域
- ・秦からの移民が建国したとも言われ、馬韓とは言語が異なる(中国語に近い)

[弁韓]

- ・半島南部、12か国に分かれ、それぞれに王がいた。
- ・後の「任那」(伽耶)の領域

[高句麗の建国と好太王]

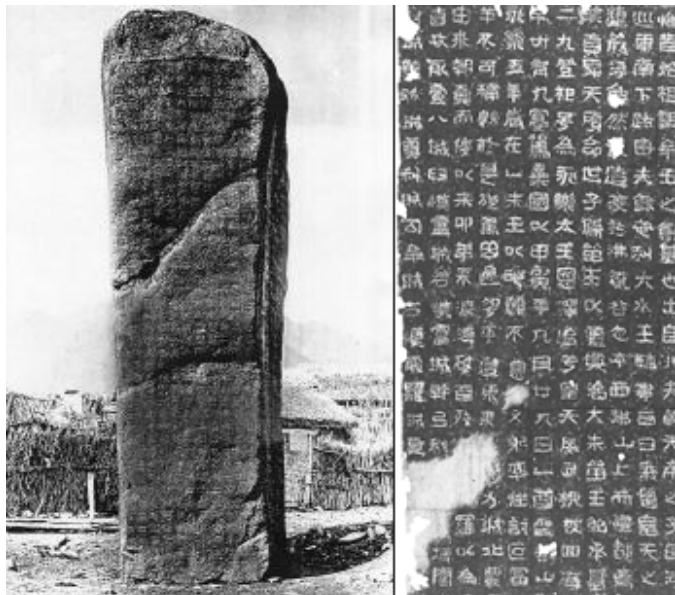
- BC37 朱蒙(チュモン)が高句麗を建国……朱蒙は扶余の人
- 313年 高句麗が楽浪郡と帯方郡を攻撃 → 楽浪郡の滅亡
- 391年 好太王が高句麗の王に即位
- 396年 百済が国土拡大 ← 好太王が応戦
- 412年 好太王が死去 → 好太王碑



＜好太王碑(広開土王陵碑)＞

中国集安市にある石碑、約1,800字

- ① 始祖朱蒙の建国神話
- ② 広開土王の出自と業績
- ③ 守墓人烟戸の構成、王権の確立



254. 好太王(広開土王)碑と碑文拓本

- 391年 倭が海を渡り百済を打ち破り臣下とする
- 398年 百済が倭と和通して新羅に侵入
- 400年 高句麗が軍を送って新羅を救援
- 404年 高句麗が倭の侵入に対して抗戦し勝利

[百済の建国と変遷]

- ・4世紀初頭…伯濟(ペクチュ)が馬韓を統一(百済建国)[都は漢城(ソウル付近)]
- ・百済の始祖温祚王は高句麗の始祖朱蒙の第3子(建国神話)
……百済の王家は高句麗の王族の分かれ(同じ扶余出身)
← 権威づけのための「神話」との指摘もある



- ・372年 百済の近肖古王が東晋から冊封を受ける
- ・367年 百済(近肖古王)が日本に七支刀を送る(石上神宮が所有)
- ・396年 広開土王(高句麗)が百済から漢江以北を奪う
- ・475年 高句麗が百済を攻撃
- ・551年 百済の聖王(聖明王)が新羅・加羅諸国と連合して高句麗と戦う
→ 大和朝廷に支援を要請



[新羅の建国と発展]

- 4世紀中期……斯慮国が辰韓地域を統一し新羅を建国、都は慶州
(新羅は朝鮮三国のなかで最も小さい後発国家)
- 517年 法興王が兵部を設け軍事制度を整える
- 520年 律令交付(17等官位制)……日本の冠位12階制度より80年以上早い
- 562年 新羅が加羅地方を支配下に置く
- 589年 隋が中国を統一
- 618年 唐が中国を支配 → 唐と新羅の対立
- 唐と手を組んで百済(660年)、高句麗(668年)を滅ぼす
- 676年 新羅による朝鮮統一



[伽耶(「任那」)と倭国]

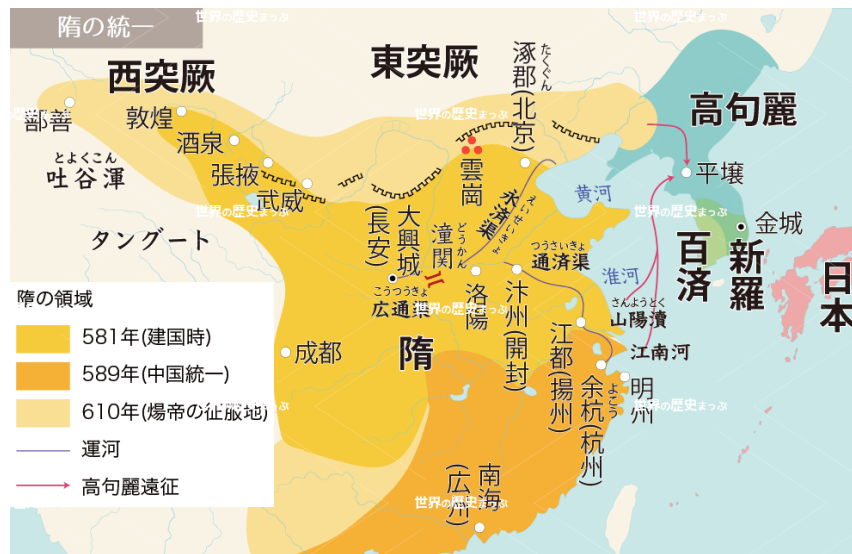
- ・弁韓は小国の乱立状態が続く
- ・このうち金官伽耶が日本(大和政権)と連携を強化
← 日本はこの地域を「任那」と呼ぶ
- ・6世紀初頭……日本が任那日本府を設置



鉄鋌 金海大成洞2號墳 4世紀 長21~25cm

[百済・高句麗の滅亡と新羅による朝鮮統一]

- 581年 隋の建国 → 589年 隋が中国統一
- 612年 百済、新羅からの要請を受け隋が高句麗出兵 ← 高句麗が応戦
- 618年 農民の反乱により隋が滅亡(←高句麗との戦争で疲弊)、唐の建国
- 624年 百済、高句麗、新羅が唐に朝遣
- 645年 唐が高句麗に出兵
- 660年 唐が百済を攻撃し百済が滅亡 → 百済王家、百済人が日本に亡命
- 663年 日本が白村江の戦いで唐・新羅連合軍に敗れる
- 668年 高句麗が唐と新羅の連合軍に敗れ滅亡
- 676年 新羅が朝鮮を統一



はくそんこう(はくすきのえ)

3 白村江の戦い(663)



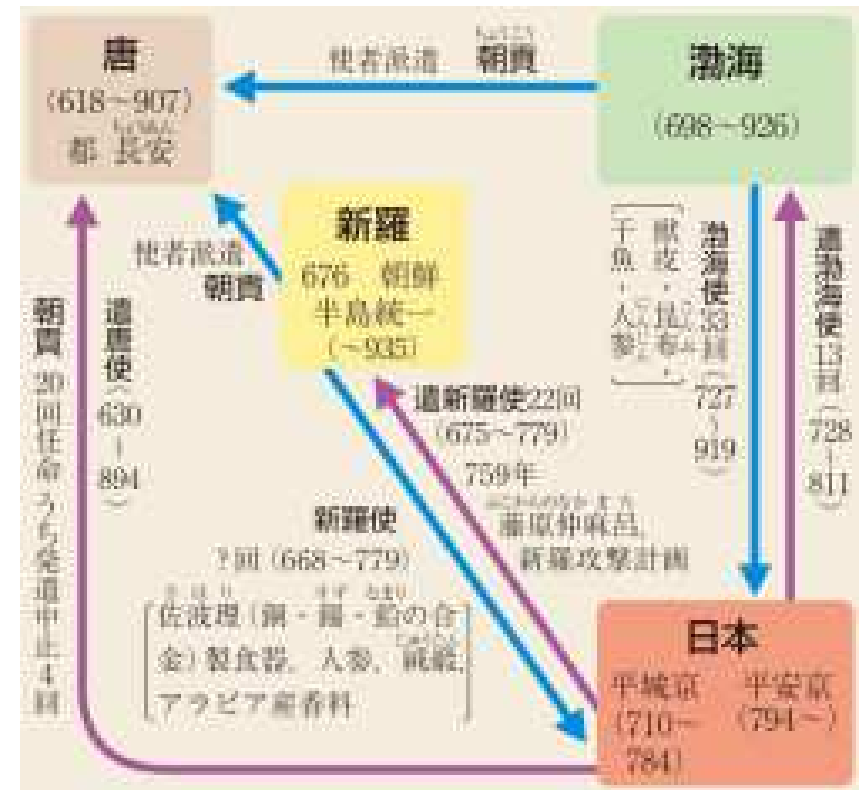
▲ 7世紀後半の東アジア





[渤海国の建国と日本との交流]

- 698年 渤海国の建国(高句麗の流れを引く勢力)
- 730年頃 日本と新羅の関係悪化 → 日本は渤海との関係を強化
- 759年 日本が新羅遠征の準備(藤原仲麻呂)



[高麗による朝鮮統一]

- 892年 後百済建国(都は光州)
- 907年 唐が滅亡 → 高句麗の後身勢力(後高句麗)が成長
- 926年 渤海が滅亡 ← 契丹の攻撃
- 936年 高麗が朝鮮を統一……新羅が王権を禅譲、後百済の滅亡



Ⅲ. その後の朝鮮史と日本

[元寇]

- 1115 女真族が金建国 → 北宋滅亡(1126) → 高麗は金の朝貢国となる
- 13世紀 モンゴル族が領土拡大 → 高麗に侵入
- 1259 高麗がモンゴルに降伏
- 1274 文永の役(モンゴル軍が九州に来襲) → 台風で敗退
[モンゴル軍2万、高麗軍6千、高麗人の雑役夫7千]
- 1279 元が中国を統一 ← 南宋を滅ぼす
- 1281 弘安の役(第二次元寇)[高麗人等4万の兵、12万人の南宋遺民]



[李氏朝鮮と文禄・慶長の役]

- 1368 明建国(朱元璋) → 元が滅亡し、明が中国統一
- 1392 高麗が滅亡 ← 農民の反乱、倭寇の活動、元の滅亡
→ 李朝朝鮮建国(李成桂は高麗の將軍)[都は漢城(ソウル)]
.....両班(ヤンバン)官僚体制、儒学(朱子学)を重視
- 1443 世宗が指示しハングル文字を創制定
- 1592 - 96 文禄の役...秀吉が15万の兵を朝鮮に出兵
- 1597 - 98 慶長の役...15万人の出兵 ← 李舜臣(將軍)の活躍で撃破
- 1627 後金(清の前身)が朝鮮に出兵 → 1636 朝鮮が清に降伏



[朝鮮通信使]

- 朝鮮は1607年から1811年まで12回の使節を送る
- 将軍の交代時等、総勢300～500名の大使節団
- 日本からは朝鮮に使節を送らず
- 朝鮮との窓口は対馬の宋氏が担当(対朝鮮貿易を独占)



[日清戦争と韓国併合]

- 1875 江華島事件・・・朝鮮に開国を要求し軍隊を出動 日本と朝鮮が武力衝突
- 1876 日朝修好条規 (不平等条約)
- 1894 東学党の乱(農民反乱) → 朝鮮が清国に援兵を要請
→ 日本が朝鮮に大軍を送り込む → 清国との間で武力衝突(日清戦争)
- 1895 下関条約締結
- 1904 - 05 日露戦争 → ポーツマス条約
- 1910 韓国併合(朝鮮半島の植民地支配[35年間])



韓国併合関連年表

1904年 2月10日	日露開戦
23日	日韓議定書調印 (日本軍の駐留容認)
8月22日	第1次日韓協約調印 (日本が財政・外交顧問を配置)
1905年 11月17日	第2次日韓協約調印 (外交権を日本が掌握、事実上の保護国化)
12月	韓国統監府設置、伊藤博文初代統監に
1907年 7月24日	第3次日韓協約調印 (統監が内政全般の統治権掌握)
1909年 7月6日	「韓国併合ニ関スル件」を閣議決定
1910年 8月22日	韓国併合条約調印 (公布は29日)



(韓国の切手)

・第3次日韓協約
韓国は内政権を喪失

・伊藤博文の暗殺
安重根、ハルビン駅で伊藤博文を暗殺

[朝鮮戦争と南北分断]

- 1945 日本の敗戦、朝鮮半島は米国とソ連の占領下に置かれる
- 1948 大韓民国、朝鮮人民共和国が独立
- 1949 中華人民共和国成立
- 1950～53 朝鮮戦争(韓国と北朝鮮が戦争) ← 米国、ソ連、中国が介入



朝鮮戦争を巡る流れ	
1948年	韓国が成立 (李承晩大統領)
	北朝鮮が成立 (金日成首相)
50年6月	北朝鮮軍が38度線を越えて韓国に侵攻、ソウルを占領
7月	国連安全保障理事会が国連軍の派遣を決定
8月	韓国政府が釜山に臨時の遷都
9月	国連軍が仁川上陸、ソウルを奪回
10月	国連軍が平壤を占領、中国国境に迫る
	中国の人民義勇軍が参戦
12月	北朝鮮・中国軍が平壤を奪回
51年	38度線でほぼ膠着状態に
53年	板門店で休戦協定に調印

IV. 主要論点と今後の研究課題

1. 「縄文」から「弥生」への移行に際し、朝鮮半島からの渡来人が果たした役割(稲作、日本語、技術、民族[遺伝子])
2. 倭国、邪馬台国の位置、歴史、朝鮮半島の国々、中国との関係
3. 日本における国家(大和政権)に果たした渡来人の役割
4. 天皇家(天孫族)はどこから来たか、騎馬民族国家説の再検討
5. 神社、神道のルーツ(八幡神社、稲荷神社、白山神社等)
6. 出雲族と朝鮮半島との関係
7. 日本書紀・古事記における朝鮮関連の記述の考察(スサノオノミコト、アメノヒボコ、ツヌガアラヒト等)
8. 蘇我氏、藤原氏のルーツ(蘇我氏は渡来人か?)
9. 仏教の伝来・普及と渡来人(百済、新羅、高句麗)

中国の歴史年表



